

# 令和3年度 地域リーダーとの意見交換会 自治振興会におけるまちづくりについて

総合政策部 政策推進課 市民活動推進室

人口減少と少子・高齢化が進む中、高齢者福祉や子育て、防災・防犯など生活に密着した公共サービスへのニーズも益々多様化しており、行政の一律・公平な従来どおりの施策では対応しきれないことも多くなってきました。



### 【平成22年度】

地域の実情に応じ、地域で考え、地域で課題解決に向けた取り組みを行うことができる新しい仕組みとして、「**自治振興会によるまちづくり**」を市民の皆さんに提案しました。

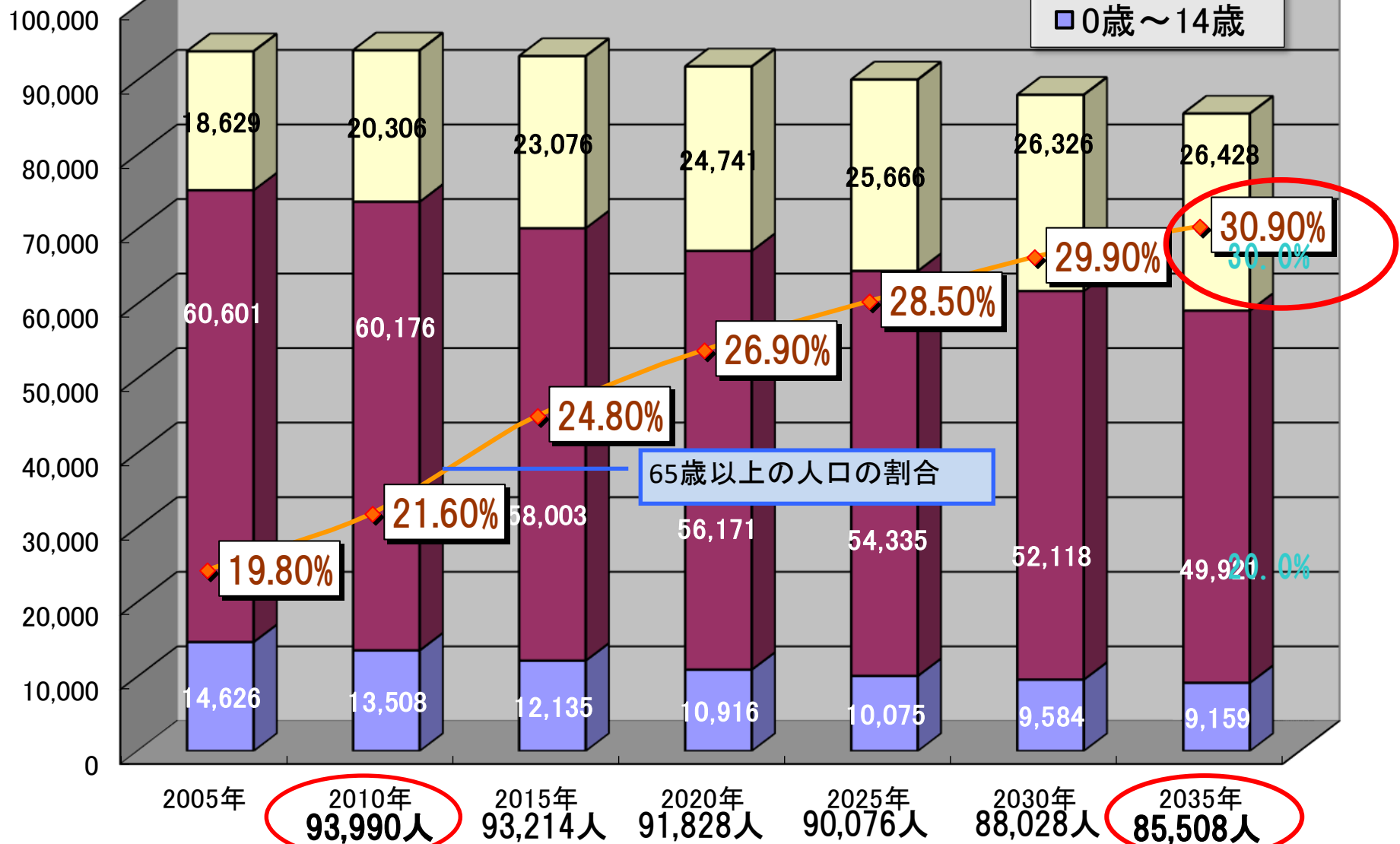


### 【平成23年度～】

市内全ての地域で自治振興会を立ち上げていただき、区や自治会をはじめ、地域で活動する各種団体やNPOなどが連携協力し、行政も共に力を合わせながら、将来においても様々な諸課題に対応していけるよう取り組んでいただいています。

# 平成22年度（2010年度）に示した 甲賀市の人口推計（2005年の国調データから分析）

- 65歳以上
- 15歳～64歳
- 0歳～14歳



国勢調査実績値 2010年 92,704人 2015年 90,901人 2020年 88,417人


# 自治振興会によるまちづくり

## 市内25の自治振興会

- ・概ね小学校区をエリアとして、住民主体のまちづくりを展開
- ・区、自治会や地域の各種団体等が連携
- ・自治振興交付金を活用して地域の課題解決につながる活動

## 市内自治振興会での取り組み例

- ・子育てサロン
- ・高齢者の健康づくり
- ・獣害対策
- ・防犯パトロール（青パト隊）
- ・地域の資源に光をあて、活用する取り組み
- ・地域課題を共有し、対応を協議する円卓会議の開催
- ・移動支援の実証実験
- ・地域内の人材を活用した生涯学習機会の提供
- ・将来の地域づくりのためのアンケート実施 など



オール甲賀  
の取り組み

自治振興会は、中長期的な視野で、広域的な活動を行っていただく組織と  
考えています。

自治振興会活動がはじまって、10年

## 『自治振興会によるまちづくり』の主な課題

- (1) 区・自治会と自治振興会の違い、役割分担が不明確
- (2) 地域づくりの担い手確保が困難（役員の負担感）
- (3) 女性や若者の参画が進まない
- (4) 地域市民センターの位置づけ、市の地域支援のあり方
- (5) 自治振興交付金のあり方、交付金の有効活用 など

● 一方で区・自治会においても、世帯主を主な構成員とする組織で女性や若者の参画が進まないことや、大半の区・自治会役員が1年ごとに交代し課題解決の継続的な取り組みが難しいなどの課題があります。

# 全国的にも自治振興会のような組織で活動が展開されています。

(小規模多機能自治組織「地域運営組織」)

(概ね小学校区という)

小規模ながらも

(各種団体や機関が分野横断し)

様々な機能をもった

(市民参画、協働による)

住民自治のしくみ

総務省調査・・・全国494市町村に1680団体設置 (H28.3月時点)  
「まちづくり協議会」、「地域自主組織」、「自治振興会」など様々な名称

## ●全国各地で取り組まれている活動内容

- ・ 高齢者の交流事業、声かけや見守りなど高齢者の活動を支える活動
- ・ 体験交流事業、公共施設の維持管理、特産品の加工・販売 等

人口減少社会をふまえて

## 自治振興会において期待する取り組み

- 高齢者等の見守り活動
- 高齢者の移動支援（医療機関やスーパーなどへの移送）
- 子育て支援
- 若者の定住促進、結婚促進
- 空家の活用
- 移住者の受け入れ体制づくり
- 地域内の人材を活用した生涯学習の機会提供
- 特産品販売（発信）などコミュニティビジネス
- 「指定管理」を受けて地元の公共施設管理 など

急速な人口減少や高齢化の中、これまで続けられてきた地域活動をそのまま継続していけるか、今一度、地域のつながりや自治会活動などについて市民の皆さんに考えていただきたく存じます。

### 自治振興会活動が始まって10年の節目

自治振興会のメリット、デメリットを改めて確認するとともに、これまでに明らかになった課題を市として整理する必要があります。

区・自治会や自治振興会の役割の明確化をはじめ、自治振興交付金制度の一部見直しなど、地域の皆さんとともに考え、より活動しやすい仕組みづくりを行ってまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。